

① **部田神社** （宮ノ脇）市指定天然記念物

延喜式に「部多神社」と記された歴史ある神社。境内の奥には8本の大クスがあり、そのうち市の天然記念物に指定されている2本の幹には大きなコブがついているのが特徴。境内には自然災害を伝える石碑やまつしろひょうさく松城兵作の顕彰碑が建てられている。



② **大行寺** （鬼川）市指定史跡



戸田滞在中のブチャーチン提督と勘定奉行川路聖謨が日露和親条約の再交渉のためここ大行寺で会見した。現在、日露交渉跡地として市の史跡に指定されている。本堂は斎藤家本家宅を移築したため、寺としては珍しい住宅のつくりとなっている。境内には、ヘダ号の建造に関わった上田寅吉の墓や、戸田地区では最古といわれる見事なソテツがある。

③ **松城家住宅** （鬼川）国指定重要文化財 **【表紙の写真】**

江戸時代後半から明治時代にかけて、廻船業で財を成した松城家の旧宅。明治6(1884)年に建てられた主屋の1階は伝統的な和風建築だが、2階には洋風の意匠が取り入れられており、擬洋風建築の最も古い例の一つとされる。石積風漆喰外壁や櫛形欄間付窓からは高度な漆喰技術が見て取れ、随所に見られる入江長八の漆喰鍍絵も大きな見どころとなっている。主屋のほかミセ、文庫蔵、東土蔵、北土蔵、門及び堀からなり、平成18年に国の重要文化財に指定されている。平成28年度から根本修理を実施しており、建てられた当時の姿を復元している。

④ **宝泉寺(ブチャーチン宿所)** （南）県指定史跡

ロシア使節一行が戸田に滞在した際に使節上官の宿舎となり、本堂向かって左側にブチャーチン提督、右側にアレキサンドル・スリゲート殿下が泊まったとされる。境内には戸田で亡くなったロシア人水兵の2名の墓があり、毎年供養がなされている。また崖面には見事な枝垂れ桜を見ることができる。



⑤ **勝呂家住宅** （南）



勝呂家はもともと武士であり、初代勝呂淡路守勝膳の子忠勝が戸田に土着し、以来戸田村の名主、船名主を務めた。江戸時代初め、紀州徳川家が戸田で行った江戸城や藩邸の石材調達と運搬作業などを担い、紀州から伝えられた「戸田の漁師踊・漁師唄」は県の無形民俗文化財に指定されている。戸田には江戸城石垣石丁場を含め、石を切り出した石切場跡が数多く残っている。

戸田地区の歴史年表	
旧石器	約 37,000 年前
縄文	約 16,000 年前
弥生	約 3,000 年前
古墳	西暦 250 年頃
飛鳥 奈良 平安	710 年
鎌倉	1185 年
室町 (戦国) 安土 桃山	● 諸口神社 鰐口 ● 蓮華寺 ● 宝泉寺 ● 勝呂淡路守勝膳
江戸	● 大行寺 1600 年 ● 江戸城石垣石丁場 ● 井田不動明王像 ● 戸田の漁師踊・漁師唄
明治	● 松城兵作（初代） 1868 年 ● プチャーチン ● ヘダ号 ● 上田寅吉
大正	● 松城家住宅 ● 勝呂家住宅 ● 巴学舎
昭和	● 洋式帆船建造地跡石碑
平成 令和	● 造船郷土資料博物館 ● 沼津市と合併



⑥ **洋式帆船建造地跡** （牛ヶ洞）県指定史跡

ブチャーチンらはディアナ号の代替船をここ牛ヶ洞で約100日かけて建造し、完成後に地元感謝を込めて「ヘダ号」と命名した。現在、建造地跡には、大正12年(1923)に建立された記念碑が立っている。

⑦ **戸田造船郷土資料博物館** （御浜）

昭和44(1969)年、当時のソビエト連邦をはじめ多くの方々のご支援により開館した。館の入口にはロシア船ディアナ号の錨(市指定有形文化財)が展示され、館内にはブチャーチンの遺品や、ヘダ号造船資料のほか、井田松江古墳群から出土した副葬品が展示されている。また駿河湾深海生物館も併設されている。



文化財まちあるきマップ 戸田編「旧戸田村(井田～舟山・新田)の文化財をめぐる」
2022年3月発行 発行・編集:沼津市教育委員会事務局文化振興課(沼津市文化財センター)

モデルコース A

～じっくり歩きたい人むけ～

歩行距離 5.9 km 所要時間 約 5 時間
消費カロリー 270kcal



モデルコース B

～早足でまわりたい人むけ～

歩行距離 2.4 km 所要時間 約 1.5 時間
消費カロリー 111kcal



カロリー計算 体重 60 kg .80m/ 分

戸田 編



文化財
まちあるき
マップ

戸田 編

旧戸田村（井田～舟山・新田）の文化財をめぐる



松城家住宅

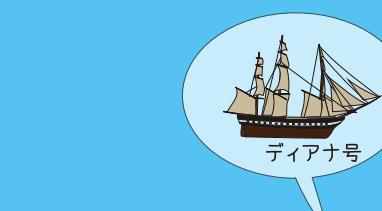
“まちあるき”の際は、車に十分注意しましょう！



タカオさんとジッキー2号

沼津市教育委員会

文化財 戸田編 まちあるき マップ



石造物ガイド

石仏
馬頭観音塔
庚申塔
甲子塔
石造物

仏様が彫られた石造物の総称。地蔵様や賽の神、様々な種類があります。

馬頭観音は頭に馬を乗せた観音様。庶民の間で馬の健康や死んだ馬の冥福を祈るため江戸時代に多く建てられました。

庚申の日の夜、寝ている人から三尺（さんし）の虫が抜け出し、天帝にその人の罪を告げるとされます。三尺が抜け出ないよう一夜を眠らずに過ごす「庚申講」を行う人々が建てた石造物です。

甲子の日の夜、人々が集まって大黒天を祀り、夜遅くまで雑談をする行事を「甲子待」といいます。甲子講の人々は、「甲子塔」「子待塔」「大黒天」の文字を刻んだ石塔を建てました。

上記以外の石碑・記念碑・中世の墓など

洋式帆船建造地跡

戸田牛ヶ洞石丁場（細川家の石切場）
戸田大浦石丁場（鍋島家の石切場）

細川家刻印
鍋島家刻印

モデルコース

スタート 8分
① 部田神社 19分
② 大行寺 12分
③ 松城家住宅 11分
④ 宝泉寺 3分
⑤ 勝呂家住宅 10分
⑥ 洋式帆船建造地跡 20分
ゴール 戸田造船郷土資料博物館

スタート 5分
① 松城家住宅 12分
② 大行寺 3分
③ 宝泉寺 8分
④ 勝呂家住宅 5分
ゴール 松城家住宅

戸田とロシアの歴史・・・日露親善条約締結のため下田に滞在していたプチャーチン提督らロシア使節一行は、嘉永7年（1854）安政東海地震に襲われ、乗船ディアナ号が破損してしまう。一行は船の修理のためディアナ号で戸田に向かったが、途中で舵がきかなくなり船は富士沖で沈没していった。プチャーチンらは陸路戸田に入り、帰国のための船を日本人船大工らと協力して造り始めた。言語・文化・技術、両国の様々な違いを乗り越えながら船は無事完成し、プチャーチンは地元への感謝を込めて船に「ヘダ号」と名付けたといわれている。

- 古墳（円墳）
- 遺跡
- 神社・祠
- 寺院
- 石碑・石造物
- 水源・水場
- ぬまづの宝 100選
- 立ち寄り店
- 石蔵
- 土蔵
- 西伊豆歩道
- プチャーチンロード

